

# 栃木県原水協ニュース

No 195号 2019年10月1日  
 原水爆禁止栃木県協議会  
 〒321-0138 宇都宮市兵庫塚3-10-30  
 栃木県労連気付 電話 028-653-1401  
 メールアドレス: tcgken-gensuikyo@outlook.jp

## 核兵器廃絶国際デー 6団体署名行動 宇都宮市



(宇都宮市シンボルロードにて)

核兵器廃絶国際デーの9月26日に合わせて、宇都宮市内のシンボルロードで宣伝活動を行いました。新婦人の会、民医連、栃木保健医療生協、革新懇、日本共産党宇都宮市議団、県・宇都宮原水協の人たち16人が参加して「ヒバクシャ国際署名」を訴え、1時間で64筆と「なくそう核兵器」のミニパンフ170部を配布しました。

信号待ちで立ち止まって親子に声をかけると、少し考えていましたが、署名の内容を説明すると2人とも署名に応じてくれました。青年たちにパンフで軍事費と大学授業料などの税金の使い道を説明すると驚いていました。

年配者から高校生など若い人たちも署名に応じてくれました。また配布したパンフも気軽に受け取ってくれました。



(宇都宮市総合コミュニティセンターロビー)

広島に戻り、亡くなったお父さんを探しに歩き、入市被爆をされ、その年の12月にお母さんの実家の宇都宮市に帰ってきました。戦後、生活の困窮とお父さんが一瞬にいらなくなったさみさと戦いながらの生き様を語ってくれました。



29日は、11歳で被爆した小松宏生さん、小松が被爆した話を話した。小松さんからは学童疎開で広島から離れたので、1週間後に

9月27〜29日の3日間、新日本婦人の会宇都宮支部は今年も総合コミュニティセンターで、「原爆パネル展」(宇都宮市後援)を開催しました。会館のロビーにパネルを展示し、原爆の実態を知らせました。パネルを見て「高校生だった時に広島に行った」と話しながら、熱心に見つめていました。

### 那須塩原市長「ヒバクシャ国際署名」に快諾

8月26日に4名で4月に就任された那須塩原市渡辺美知太郎市長への平和行進への要請を行いました。ヒバクシャ国際署名に快く署名をいただき、また10月の原水協ニュースへの掲載をお願いしたところ「やったー」と言って快諾していただきました。これからも市への協力をお願いできそうです。

### 2020年世界大会ニューヨーク参加者募集!

第一次締め切り10月末  
 最終締め切り来年2月末  
 (別紙案内ご覧ください)

40人の参加者の多くの方が、被爆の体験を聞くのは初めてで、熱心に聞き入っていました。数人の方が戦争の悲惨さと平和への思いを話しました。40歳の女性は、広島県の出身で小松さん話を聞き、「当時の状況が目に見え、核兵器に反対すること、パネル展やお話しなどで、子どもたちに伝えてゆきたい」と感想を寄せられました。

### 「ヒバクシャ国際署名」数 (栃木県原水協集計分)

諸団体	県北原水協	3,016筆
	県南原水協	109筆
	宇都宮市原水協	1,338筆
	非核の会	191筆
	新婦人の会	8,990筆
	民医連	2,142筆
	保険医協会	604筆
	県原水協	137筆
	小山推進委員会	140筆
	非核下野市の会	264筆
	県労連	28筆
	栃木県平和委員会	54筆
	鹿沼原水協	322筆
自治体	日光市	953筆
	下野市	494筆
	栃木市	83筆
	小山市	109筆
	上三川町	160筆
合計 (10/1現在)	19,299筆	

### 栃木県原水協2019年第44回定期総会のお知らせ

日時: 11月16日(土) 13:30~  
 会場: 宇都宮市国本地区市民センター

### 県北原水協 世界大会—長崎大会報告会

9月26日西那須野公民館で13名の参加者で報告会を開きました。



池田さんからプロジェクターを使って写真を見ながら説明をうけました。那須町から多くの人から準備と支援をいただいたこと、長崎での展示館での説明が丁寧なされたこと、永井隆記念館を訪問しその生き方に感動したことなどが話されました。

小松さんからは被爆者として青年との交流をし、また永井隆宅を訪れ、自分が高校生の時に読んだ作品を思い出して、感激したこと、また多くの高校生の取組みにも励まされたようです。参加者からおおくの意見がだされ、2020年に向けてのよい報告会となりました。